

目標負荷量の設定方法

1 生活排水における1日一人当たりの発生汚濁負荷量

単位:g/日・人

区分	BOD	COD	T-N	T-P
し尿	13	7.4	8.0	0.7
生活雑排水	27	12.6	2.0	0.3
合計	40	20	10	1.0

* 浄化槽の構造基準・同解説2,005年版P459



2 各生活排水処理形態別の排出負荷量

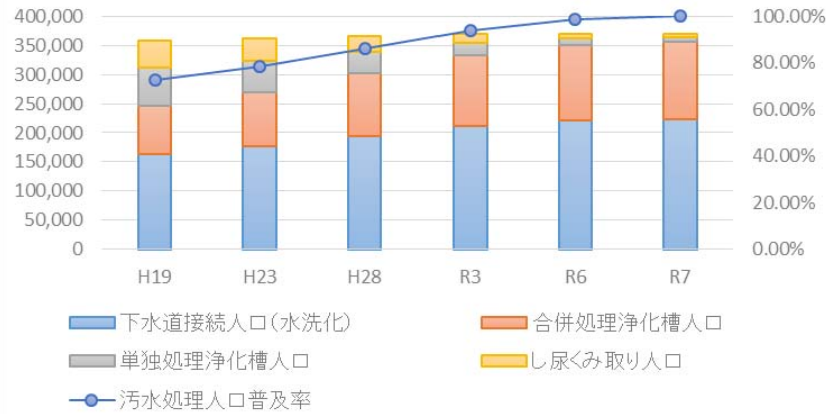
各施設の除去率等から処理形態別の排出負荷量を算定

単位:g/日・人

区分	BOD	COD	T-N	T-P
下水道	0.752	1.808	3.236	0.233
合併処理 浄化槽	4	6	7.3	0.63
単独処理 浄化槽	31.55	17.15	9.04	0.825
汲み取り	27	12.6	2	0.3

3 生活排水処理形態別の人口算出

人口推計と施設種別人口推計



係数条件を以下のように設定

- 高知市総合計画における人口フレーム及び下水道事業計画における推計を踏まえ、平成33年度(R3)推計人口34万人とした。
- 下水道処理区域内人口は現状の伸び率に対して20%とし、同伸び率を水洗化にも適用
下水道処理区域内人口伸び率:総人口に対して年0.92%増(現状1.15%×80%)
- 合併処理浄化槽人口は、下水道処理区域内外とも伸び率20%減とした。(総人口に対して年0.15%~0.37%)増
- 単独処理浄化槽とし尿汲み取りとの割合は、平成17年度末の割合(59.28%単独, 40.72%汲み取りを固定している。
- 令和7年度末で汚水処理人口普及率100%になるように算定

4 目標排出量を算定

算出方法:2の各生活排水処理形態別の排出負荷量×人口より算出

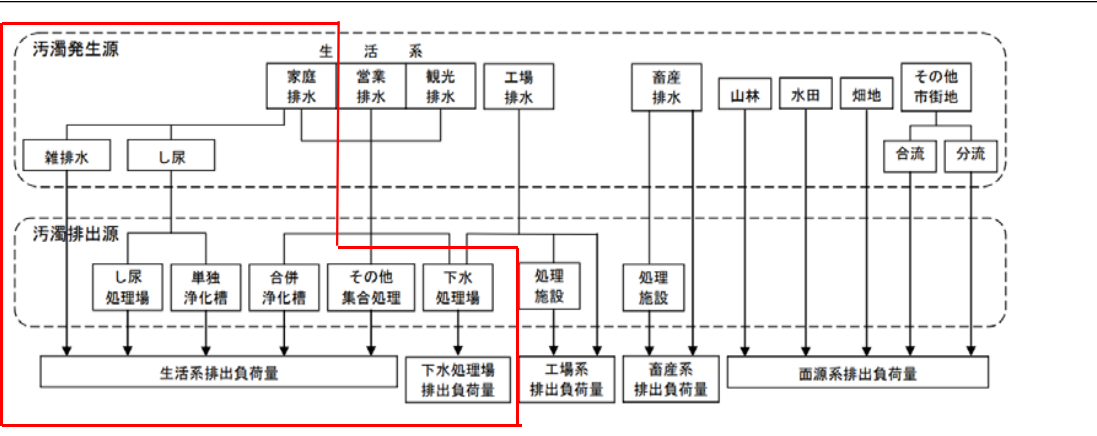
* 例:BOD負荷量の推移(生活排水全体)

単位:kg/市・日

区分	公共下水道	合併処理浄化槽	単独処理浄化槽	し尿汲み取り	合計	H19の合計を100とした場合
計画初年度(H19)	101	333	2101	1235	3770	100%
5年目(H23)	111	376	1704	1001	3192	85%
10年目(H28)	124	432	1195	703	2453	65%
15年目(R3)	137	488	675	397	1697	45%

本計画の設定負荷量と水質目標の設定

公共用水域への汚濁発生源は、下図のとおりとなっている。本計画は、汚濁発生源として赤の を囲む範囲である。



【負荷量設定】
・第2次高知市生活排水対策推進計画は、汚濁発生源を生活系のみとして、人口推計を用いて負荷量を算定しております。

【河川水質目標値】
河川の目標値は、海域の基準値全窒素0.6と全リン0.06(暫定値)の基準をもちいており、右の海域の濃度拡散からみると、高い目標であると考えられます。

海域の拡散機能について

河川から流入した汚濁物質は、微生物の分解、潮流によって拡散によって濃度が低下します。

